



# しおかぜ だより 第1号

2018. 3.1

特集

## 下津井へ、愛をこめて言わせてください①

～砂田民生委員と杉山駐在による対談～

- 地域健康講座
- 下津井地域の健康講座・健康体操のご案内
- 「認知症を知り地域をつくる」認知症サポーター
- 伝統的祭りへの法人の応援
- 編集後記

発行／社会福祉法人しおかぜ

〒711-0927 倉敷市下津井 1482 番地 18

TEL 086-470-4848 FAX 086-479-7675

<http://www.shiokaze-group.jp/>

ごあいさつ



理事長  
三宅 富之

余寒なお厳しく、吐く息の白さに耐えながら春の訪れを心待ちにしているこの頃ですが下津井の皆さま新年が明け早いものでもう1ヶ月が過ぎました。少子化・高齢化が進む下津井地域において高齢になっても住みなれた場所で生活したいと思っていらっしゃる方は多くいることと思います。そのような中、下津井で法人設立以来ずっと守ってきたことがあります。もともと地元篤志家、有志で立ち上がった法人であり先代理事長より「地域のための法人であれ！」との強い意志を守り続けており、今まさに地域の皆さま方にその真価が問われているところだと思っています。29年度より地域支援事業部を立ち上げてその活動を積極的に実施するため地域支援委員を任命し「いつまでも住み続けられる町、下津井！」を目指して地域住民、地域関係団体の皆さまと一緒に考え、課題解決に取り組み始めましたのでどうかご理解ご協力の程よろしくお願いします。

### 地域貢献事業について

下津井のみなさんこんにちは！今年度より地域支援事業を担当することになりました矢野旬一と申します。下津井で働きはじめ地域の皆様方にお世話になって25年経ちます。入職当時より福祉施設は、地域の一員であると思っており少子高齢化する下津井地域において法人の責任は大きなものだと感じております。町へ出て地域のみなさま方との信頼関係を築くことから町の要望や福祉課題の解決を一緒に考えていき少しずつではありますが前進していこうと思っていますのでどうぞよろしくお願いします。また、この広報誌は町での活動やお知らせ等、みなさまに役立つ情報等も掲載し年に4回程度は発行していきたいと思っておりますので楽しみにいただければ幸いです。

矢野旬一（社会福祉法人しおかぜ 地域支援事業担当部長）



しおかぜ矢野

地区ごとに寄り合い  
してることがあって、結  
果良くなったんですよ！  
杉山 僕さっき閉鎖的言  
うたんですけど、逆に言え  
ば団結心があって力を発  
揮する。  
砂田 そつそつ、下津井の  
人らは自分たちの力でど  
うにかせんといいんって  
立ち上がった力が凄か  
ったんですよ。だからも  
う、夜はしゅちゅう公民館  
で寄り合いして、それで悪  
い子ほどお母さんが寄り  
合いにこないし、参観日来  
ないということを経験の  
人たちが言って、良くなっ  
た。そりゃもう時間もかか  
ったけど、何年もしてね。  
杉山 そういう事が大事  
ですね。

高齢化している地域にお  
いて今日の話題でもあり  
ますが、特殊詐欺被害が跡  
を絶ちません。それぞれの  
思いとどのような活動を  
されておられますか？

杉山 特殊詐欺は岡山は  
27年にすごく増えて被  
害額が16億円を超え、  
その次の年は3億5千万  
くらいまでガクッと下が  
るんですよ。で、去年はま  
た被害が増えて。こうい  
うグループって例えば今  
年は岡山で活動して、で  
増えたら対策するじゃな  
いですが警察も。ほなま  
あ、次の県行こうかみた  
いなかんじで手口もどん  
どん変わってくるし、特  
定の手口について指導し  
てもどんどん新しいのが  
くるのでイタチごっこに  
なって、防ぐのは難しい  
んですよ実際の所。ただ  
1つ言えるのが、手口は  
一杯あるけど結局はお金  
をとる目的があるんで、

固定電話では絶対お金の  
話はしないとか、簡単な  
決まりごとですね。一番  
は固定電話を置いとかな  
いのが良いんですけど。  
大体は固定電話を用いて  
犯人グループはかけてく  
るんで。

砂田 固定電話なくし  
て、携帯だけの人もいま  
すね。若い人らはだんだ  
んとやめてるね。

矢野 携帯には（詐欺の  
電話は）全然かかってき  
ませんもんね。

杉山 相手も高齢者に対  
して電話をかけたいたか  
ら。電話帳に書いてある  
とか、名前とか見て昔の  
名前だなとわかるんです  
よね。

矢野 家族ぐるみで対策  
をしないと。電話帳に電  
話番号載せんとか。

1時間の対談、①と②に  
分けて次回、後編を載せ  
ます！

## 伝統的祭りと地域社会

少子高齢化により子ども会もなくなり、お祭りも縮小されています。地域の方々より『昔のように派手には  
できなくても、お祭りは楽しく地域にとって大切な行事であることを子どもたちに伝えたい』との思いが法人に  
寄せられ、4年前から祇園神社祭礼、17年前からは吹上四柱神社の宵祭りへ出店のお手伝いを地域  
の方々と一緒にさせていただいて  
います。

店を出すことは容易なことです、  
私たちは『皆さんと一緒に』、  
あくまで主役は地域の皆さんで  
あってほしいと願っています。





少子高齢化が進んでいる下津井について感じている地域変化等をお話ください。

砂田 昔は地区ごとのチームでスポーツをやったりしたけど子ども会も無くなって当時と比べたら雲泥の差ですよ。矢野 逆に高齢者が多くなってる？

砂田 そうそう、親との同居が減って独居が増えてるし。

杉山 僕が来た時(H27)には既にこういう状態で。ただ少子高齢化は避けて通れないので。下津井は犯罪がいっぱいあるような地域じゃないんで、高齢者対策と、数少ない貴重な

下津井地区民生委員  
砂田会長



子ども達の健全育成に重点を置いて活動してます。最初は1人で苦労しながらやったんですけど最近協力してくれる方を見つけてスムーズに色々できるようになってますね。

砂田

今までの警察の方は杉山さんみたいな方はいなかったですよ。地域の方と積極的に交流してもらってるし。

杉山

笑 心配な方を把握するようなネットワークなどは？

砂田 民生委員としては福祉員をお願いして見守り活動とか、助かってます。今気になってるのが40代、50代で独身の方。1人暮らしの予備軍かなあって…。

矢野

カップリングパーティとかしてあげても来ない？

砂田 チラシをあげてもね、全然、下津井なんかは特にね。

杉山 閉鎖的ですからね、昔から。

砂田 井の中の蛙みたいでね、山一つ越えたらしゅんとなる、私たちの子どもがそうやったから笑。

下津井駐在所  
杉山真一 巡査部長

矢野 独居の方はどうです？

杉山 独居で一番気になるのは孤独死。だから重点は見守りができているかって話なんですけど、都市部と比べて人数が少ないからすごく目が行き届いてまして。だから砂田さんとか婦人会の、この人がこの人を見るみたいな役割もできるとし、すごい逆にしっかりしてるなって思ってるその辺は安心しとんですよね。

砂田 毎年一人暮らしになった方を把握しに行ってる。

杉山 小さい点について言えば地理的な問題で病院への通院がしづらいつか買物物などに不便さを感じる方もおるかなと。

町の課題について小地域ケア会議などがあがっている点や、解決するのに必要な取り組みについて。

杉山 大人のマナー違反や駐車苦情、野良犬への餌やりは毎回問題点として挙がるんですが、話したことに満足して具体的な解決策や動くんかゆうたらさうでもない。地域でちゃんと本気でやれば解決できるのになあと、ちょっと歯がゆさがありますね。

砂田 昔、下中がすごく荒れた時に地域の人が立ち上がって、

下津井へ、愛をこめて言わせてください



## 地域健康講座のご紹介

しおかぜにて毎年 3 ～ 4 回専門職員による健康講座を開いています。各地域の方々に認知症、介護予防、生活習慣病予防のテーマで講座と昼食の提供をさせていただき知識・意識向上のお役に立ちたいと考えております。



管理栄養士監修の健康メニュー

## 健康体操のご案内

大室、古下津井、片原、まだかな会館、田之浦憩いの家で地域健康体操を行っています。きっかけは、大室の松枝会長からのご依頼ではじまりました。

- 大室集会所/毎月第 3 水曜 10 時 30 分～
- 古下津井公会堂/毎月第 2・第 4 金曜 10 時～
- 片原(下津井公民館)/毎月第 4 日曜 10 時～
- まだかな会館/毎週木曜 14 時～
- 田之浦憩いの家/毎週木曜 14 時～

体操も大事ですが、定期的に集まる機会を作ることにより外出と会話を楽しむことを目標にしています。



## 「認知症を知り地域をつくる」認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解しみんなで支え合おうと去年 10 月より法人として積極的に取り組んでおります。現在までに児島警察員の皆さん、下津井中学校 1 年生、下津井 3 丁目(古下津井)、下津井 5 丁目(大室)住民、しおかぜ認定こども園職員の方々に受講いただき 146 名の方々が認知症サポーターとして活躍されています。今後は、下津井 2 丁目(片原)、下津井 1 丁目、大畠、田之浦、吹上の住民のみなさんへの開催を予定しております。



↑ 認知症サポーター要請講座  
受講者に配られるオレンジリング

## 編集後記

法人設立以来、初めてとなる地域向け広報誌の発行をさせていただきました。昨年より地域貢献委員会で地域のみなさまに、下津井の現状やしおかぜからの情報発信をしたいという意見からやっと第 1 号の発行となりました。編集にあたり対談コーナーでは、町の方の声を聞きたくてご無理を申し上げた砂田民生委員会会長も初めは緊張されていましたが時間の経過と杉山巡査部長の雰囲気づくりにより普通の会話にもどられ和やかにできました。また、各種コーナーでは画像等の使用を快く引き受けてくださった町の方々に感謝しております。この広報誌が少しでも地域のお役に立てるよう今後も心を込めて作成していきたいと思っておりますのでご愛読よろしくお願いします。

編集担当者